

## アクティブ・チャイルド・プログラムの指導実践

保健体育講座・田中雅人

### 1. 授業の概要

この授業では，スポーツイベントを実施することによって，クラブの果たす役割について理解すること，スポーツイベントを企画・運営するための知識やスキルを習得するとともに，実施したイベントを的確に評価する能力を高めることを目的とした。なお，到達目標を，1) 総合型地域スポーツクラブの役割について説明できる，2) スポーツイベントを企画・運営できる，3) スポーツイベントの企画・運営を評価し，発表できる，4) 主体的にグループワークに取り組むことができるの4つとした。

到達目標を達成するために，1) 愛媛大学総合型地域スポーツクラブが主催する9つのスポーツ教室のいずれかの指導スタッフ，2) 松山市文化・スポーツ振興事業団が主催し，愛媛大学総合型地域スポーツクラブが後援する「アクティブ・チャイルド・プログラム in 北条（以下，「ACP北条」とする）」の指導スタッフとして，教室やイベントを企画・運営したのち，省察を行った。受講生は18名であった。成績評価は，スポーツ教室での指導実践と省察レポート（50点），「ACP北条」での指導実践と省察レポート（50点）とした。

### 2. 「ACP北条」の概要

参加者は，小学1年生～4年生，約100名であった。約20分間のアイスブレイクを行ったのち，参加者は，5つのグループに分かれて，5つの運動遊びを順に実施した。各プログラムの実施時間は，約20分であった。実施した運動遊び，および各運動遊びで身に付くと考えられる体力要素は以下の通りである。

- ・ねずみ逃がし：瞬発力，調整力
- ・魚とり：瞬発力，調整力
- ・しっぽ取り：瞬発力，全身持久力，調整力
- ・ひよこの闘い：筋力，調整力
- ・スリーチーム綱引き：筋力，調整力

学生スタッフは，3～4人で5つのチームを作り，各運動遊びの指導を担当した。

### 3. テキストマイニングの方法

「ACP北条」の指導スタッフとして参加した16名の学生が記述した振り返りレポートの内容をテキストマイニングの対象とした。テキスト

マイニングには，「KH Coder」を用い，名詞，動詞，形容詞を分析の対象とし，各品詞別に出現回数が高かった語を抽出したのちに分析を行った。なお，「ACP北条」に参加した学生は，愛媛大学総合型地域スポーツクラブのスポーツ教室の指導スタッフとしても活動している。そこで，子ども（小学生以下）を対象としたスポーツ教室と大人（中学生以上）を対象としたスポーツ教室との分類を外部変数とし「G1：子ども，G2：大人」の2群に区分した。

### 4. テキストマイニングの結果

分析には，田中（2018）が野外活動に関する記述に対して実施したテキストマイニングの手法を用い，階層的クラスタ分析，共起ネットワーク，対応分析を行った。

#### 1) 階層的クラスタ分析

階層的クラスタ分析を行ったところ，8つのクラスタに分割された。出現パターンの似通った語のまとまりを概観すると，「運動遊びの活動内容」，「運動遊びで身に付く動き」，「運動遊びの楽しさ」，「子どもの反応や感情」，「指導の工夫や伝え方」，「子どもへの対応の難しさ」，「スタッフとしてイベントへの関わり」であった。これらは，運動遊びの実施や運動遊びが子どもに与える影響に関する語と指導方法や子どもへの関わり方に関する語に大別された。

#### 2) 共起ネットワーク

共起ネットワークを作成し，共起の程度が高いと考えられるところに境界線（破線）を加えた。「子ども」，「する」，「できる」，「感じる」，「遊び」，「難しい」といった語の共起の程度が高く，子どもが運動遊びに対して「できる」や「難しい」といった感情を描いていることが示された。また，「体」，「遊ぶ」，「活動」，「動き」，「楽しい」といった語からは，遊びを通して身体を動かすこと，「ルール」，「説明」，「理解」，「分かる」からは，遊びのやり方を説明して理解させることの難しさ，「スタッフ」，「イベント」，「プログラム」，「参加」からは，運営スタッフとして参加した意義が示された。（図1）。

